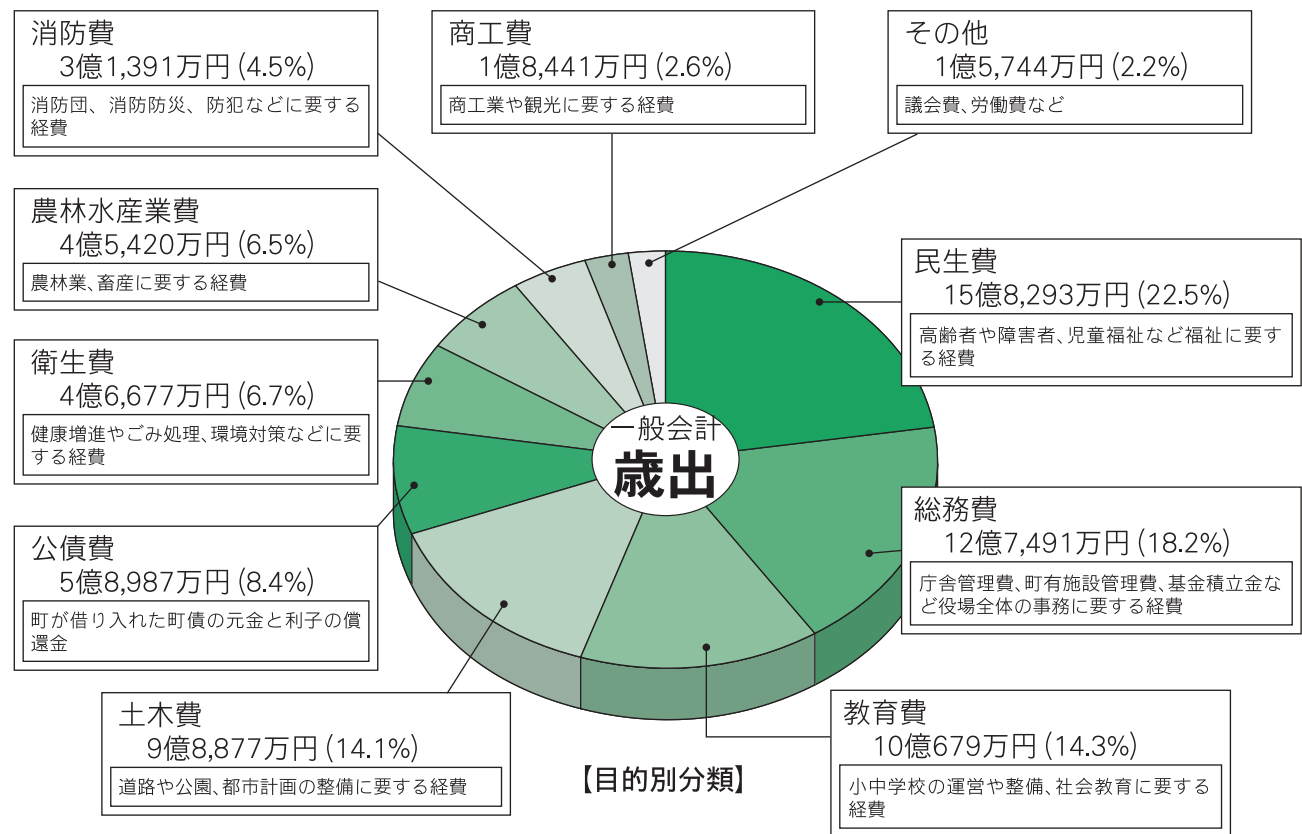
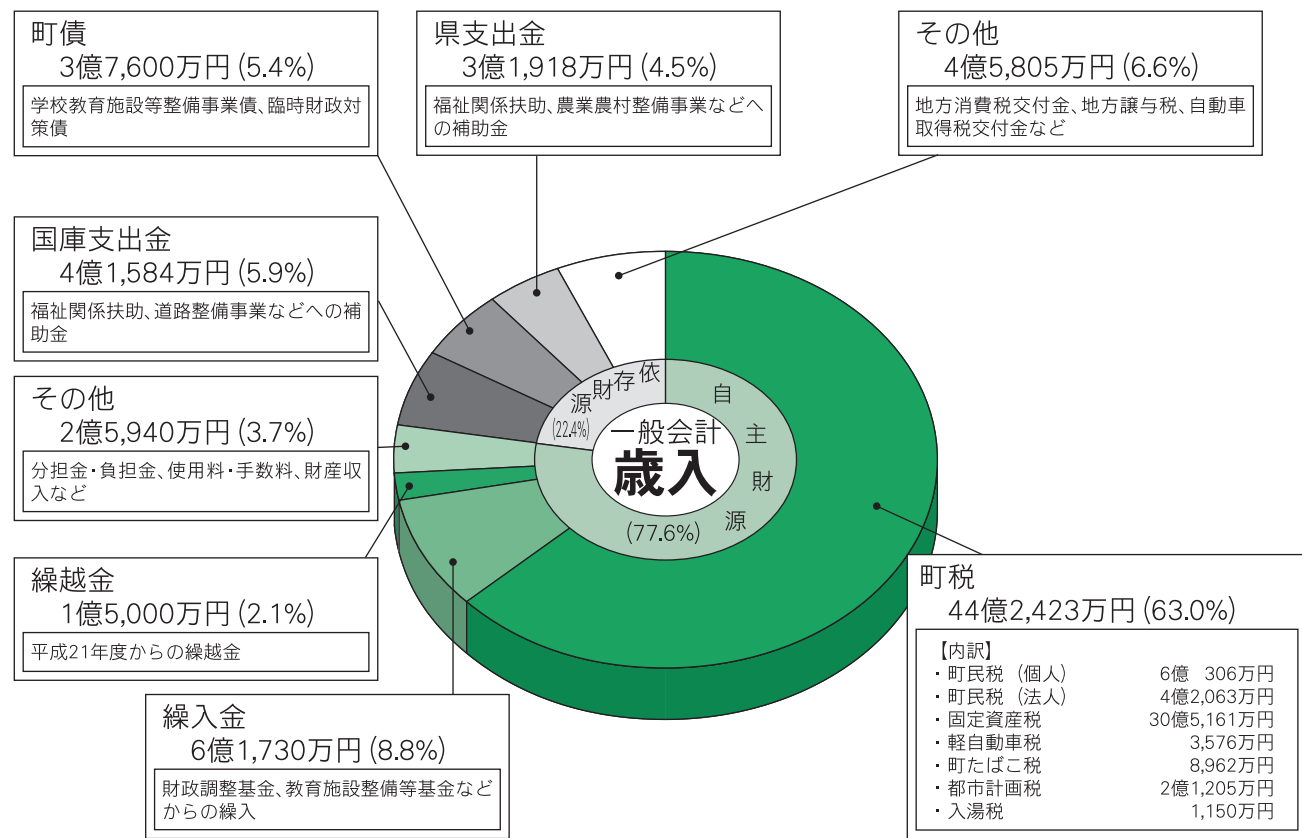




一般会計 70億2,000万円

対前年度比2億9,900万円(4.4%)の増

歳入

町税は、44億2,423万円で歳入全体の63.0%を占めており、前年度と比べ4億948万円の増となりました。内訳は、町民税個人が6億306万円(6,131万円増)、町民税法人が4億2,064万円(2億3,027万円増)、固定資産税が30億4,899万円(9,492万円増)などとなっています。

繰入金は、6億1,730万円で1億9,215万円の減となりました。財源不足を補うための財政調整基金や教育施設等整備基金などからの繰り入れです。

国庫支出金は、4億1,584万円で、芳賀中学校の耐震工事の完了により教育費国庫補助金は減となりましたが、子ども手当費負担金などにより1億2,205万円の増となりました。

県支出金は、農道整備事業や緊急雇用創出事業などにより4,383万円増の3億1,918万円です。

町債は、芳賀中学校技術・家庭・音楽棟建築工事により学校教育施設等整備事業債と財源不足を補うための臨時財政対策債の借入を予定し、3億7,600万円を計上しました。

歳出

歳出を目的別にみると、民生費が最も多く15億8,293万円で、構成比は22.5%を占めています。子ども手当給付費の新設により前年度と比べ2億1,636万円(15.8%)の増となりました。

次いで総務費が12億7,491万円(構成比18.2%)で、旧高橋小学校の解体工事や光の道整備事業の支線工事などの新規事業分が増額となりますが、町民税法人の還付金が2億円減額となったため、6,034万円の減額となりました。

教育費は、10億679万円(構成比14.3%)で1億4,526万円の減となりました。これは、芳賀中学校大規模改造工事が完了し、技術・家庭・音楽棟建築工事だけとなったためです。

土木費は9億8,877万円(構成比14.1%)となり、道路新設改良事業などにより2億403万円の増です。

このほか、農林水産業費は4億5,420万円で、農道整備事業や里山林整備事業により5,187万円の増、消防費が3億1,391万円で、消防ポンプ車購入などにより1,768万円の増となっています。

特別会計 39億4,250万円

農業集落排水事業が66.5%の増

特定の事業を行うために一般会計とは区別して経理される特別会計は、下表のとおり9会計を設置しています。これらの特別会計予算の合計は、39億4,250万円で、一般会計と合計した町の予算総額は、109億6,250万円となりました。

予算額が大幅に増えているのは、農業集落排水事業で、1億2,300万円(66.5%)増の3億800万円となっています。これは、和泉ニュータウン地区の加入に伴う東水沼地区処理場の機能強化工事と排水管布設工事などによるものです。

介護保険は、サービス給付費負担金などの保険

給付費の増加により10.3%増の10億9,420万円、後期高齢者医療は、1億3,270万円で高齢者の医療費の増加に伴い広域連合納付金が増えたため21.5%の増となりました。

工業団地排水処理センターは7,300万円で基金積立金の減により16.1%の減、公共下水道事業は1億4,500万円で管渠布設工事の減少により、44.2%の減となりました。

祖母井南部土地区画整理事業は、街区工事と移転補償の減少により、25.5%減の3億2,100万円となっています。

会計名		予算額	歳出の概要
国民健康保険特別会計		18億4,500万円	保険給付費、後期高齢者支援金
老人保健特別会計		220万円	医療給付費
農業集落排水事業特別会計		3億 800万円	8地区処理施設の維持管理費
工業団地排水処理センター特別会計		7,300万円	処理センターの維持管理費
介護保険特別会計	保険事業勘定	10億8,900万円	介護サービスへの給付費
	サービス事業勘定	520万円	介護予防支援事業費
公共下水道事業特別会計		1億4,500万円	下水管布設工事、処理場の維持管理
祖母井南部土地区画整理事業特別会計		3億2,100万円	道路などの工事、移転補償費
宅地造成事業特別会計		2,140万円	分譲地の販売促進
後期高齢者医療特別会計		1億3,270万円	後期高齢者医療広域連合納付金
合計		39億4,250万円	